

# 株式会社ニレコ(6863) 2017年3月期第2四半期 決算説明会資料

2016年11月29日

1. 上期実績
2. 通期見通し
3. 今後の取り組み

# 1. 上期実績 (2016/4 – 2016/9)

## 上期実績概要

- 受注高、売上高ともに計画、前年同期を下回ったものの、2 Q以降の受注高は昨年レベルまで回復

(単位：百万円)

	16/3期	17/3期		増減率	
	上期実績	上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	4,012	3,750	3,577	-11%	-5%
売上高	3,448	3,500	3,295	-4%	-6%
営業利益	225	200	119	-47%	-40%
営業利益率(%)	6.5	5.7	3.6		
経常利益	251	220	132	-47%	-40%
経常利益率(%)	7.3	6.3	4.0		
親会社株主に帰属する四半期純利益	176	140	60	-66%	-57%
四半期純利益率(%)	5.1	4.0	1.8		
1株当たり四半期純利益(円)	24.43	19.26	8.33	-66%	-57%

# プロセス事業

(単位：百万円)

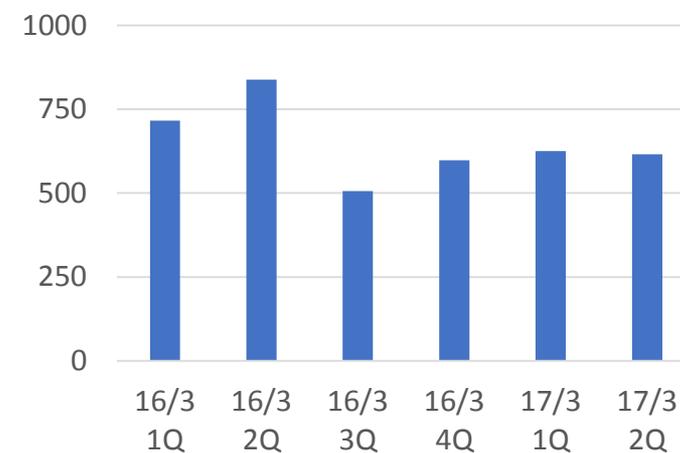
	16/3期 上期実績	17/3期		増減率	
		上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	1,553	1,350	1,240	-20%	-8%
売上高	1,115	1,200	1,172	+5%	-2%
セグメント利益	236	230	143	-39%	-38%
セグメント利益率(%)	21.3	19.2	12.2		

## 2017/3期上期

- 受注高： 海外設備投資に慎重な状況が継続
- 売上高： ほぼ計画通り
- セグメント利益： 海外価格競争、新製品投入費用の増加

## 受注高推移

(単位：百万円)



# ウェブ事業

(単位：百万円)

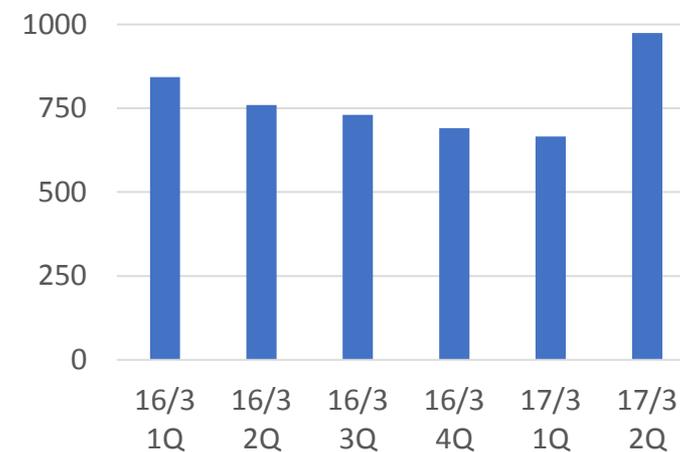
	16/3期 上期実績	17/3期		増減率	
		上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	1,601	1,440	1,640	+2%	+14%
売上高	1,451	1,400	1,418	-2%	+1%
セグメント利益	152	135	255	+67%	+89%
セグメント利益率(%)	10.5	9.6	18.0		

## 2017/3期上期

- 受注高： 第2 四半期以降改善傾向
- 売上高： ほぼ計画通り
- セグメント利益： コストダウン、サービス収益の増加

## 受注高推移

(単位：百万円)



# 検査機事業

(単位：百万円)

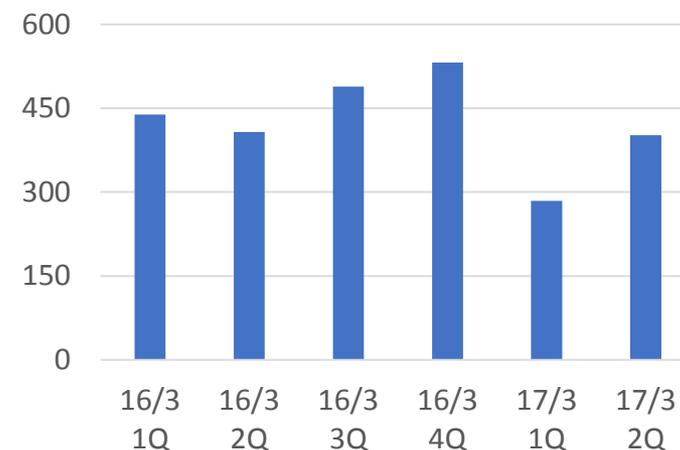
	16/3期 上期実績	17/3期		増減率	
		上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	846	960	685	-19%	-29%
売上高	871	900	693	-20%	-23%
セグメント利益	103	100	-21	—	—
セグメント利益率(%)	11.9	11.1	—		

## 2017/3期上期

- 受注高： 無地検査装置は堅調。選果装置は下期ずれ込み
- 売上高： 無地検査装置は堅調。選果装置は減少
- セグメント利益： 減収が影響

## 受注高推移

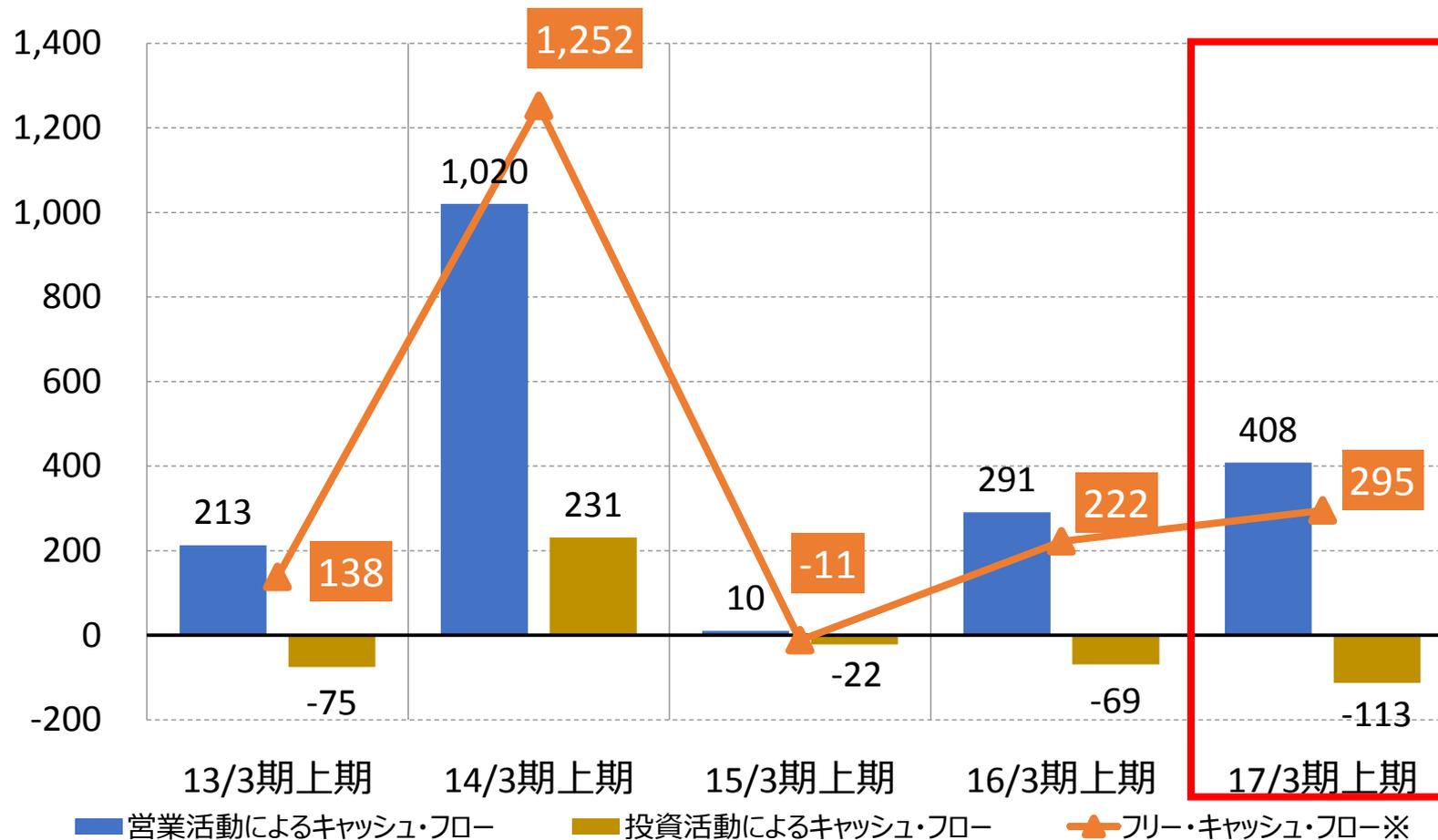
(単位：百万円)



## 貸借対照表

	16/3期末		17/3期上期末		前期末比 増減額	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
現金・預金	4,485	33.9	4,637	35.7	152	
売上債権	2,909	22.0	2,686	20.7	-222	予定通りに大型カーター回収
有価証券	31	0.2	14	0.1	-17	
棚卸資産	2,011	15.2	1,894	14.6	-116	
その他流動資産	318	2.4	290	2.2	-28	
<b>流動資産</b>	<b>9,756</b>	<b>73.8</b>	<b>9,524</b>	<b>73.4</b>	<b>-231</b>	
有形固定資産	2,129	16.1	2,071	16.0	-58	
無形固定資産	84	0.6	69	0.5	-14	
投資その他資産	1,251	9.5	1,310	10.1	59	
<b>固定資産</b>	<b>3,465</b>	<b>26.2</b>	<b>3,451</b>	<b>26.6</b>	<b>-13</b>	
<b>資産合計</b>	<b>13,221</b>	<b>100.0</b>	<b>12,975</b>	<b>100.0</b>	<b>-245</b>	
買入債務	337	2.6	282	2.2	-54	
その他流動負債	1,026	7.8	944	7.3	-81	未払法人税等減少
<b>流動負債</b>	<b>1,363</b>	<b>10.3</b>	<b>1,226</b>	<b>9.5</b>	<b>-136</b>	
固定負債	459	3.5	376	2.9	-83	長期借入金一部返済
<b>負債合計</b>	<b>1,823</b>	<b>13.8</b>	<b>1,603</b>	<b>12.4</b>	<b>-219</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>11,398</b>	<b>86.2</b>	<b>11,372</b>	<b>87.6</b>	<b>-25</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,221</b>	<b>100.0</b>	<b>12,975</b>	<b>100.0</b>	<b>-245</b>	

# キャッシュ・フローの状況



※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

## 2. 通期見通し (2016/4 – 2017/3)

## 主要対象市場の状況

### プロセス事業

- 鉄鋼市場：設備投資需要全体は引き続き限定的。一方で、生産性向上、品質改善を目的とした需要は底堅く推移

### ウェブ事業

- コーター市場：有機EL、二次電池向けを中心に高機能フィルムの設備投資需要は堅調
- 軟包材市場：食品パッケージの高機能化・多様化により設備投資需要は堅調

### 検査機事業

- 高機能フィルム市場：有機ELや二次電池等の電子部材向けを中心に設備投資需要は継続
- 選果市場：国内老朽設備の更新続くも競争激化。省力化ニーズは継続

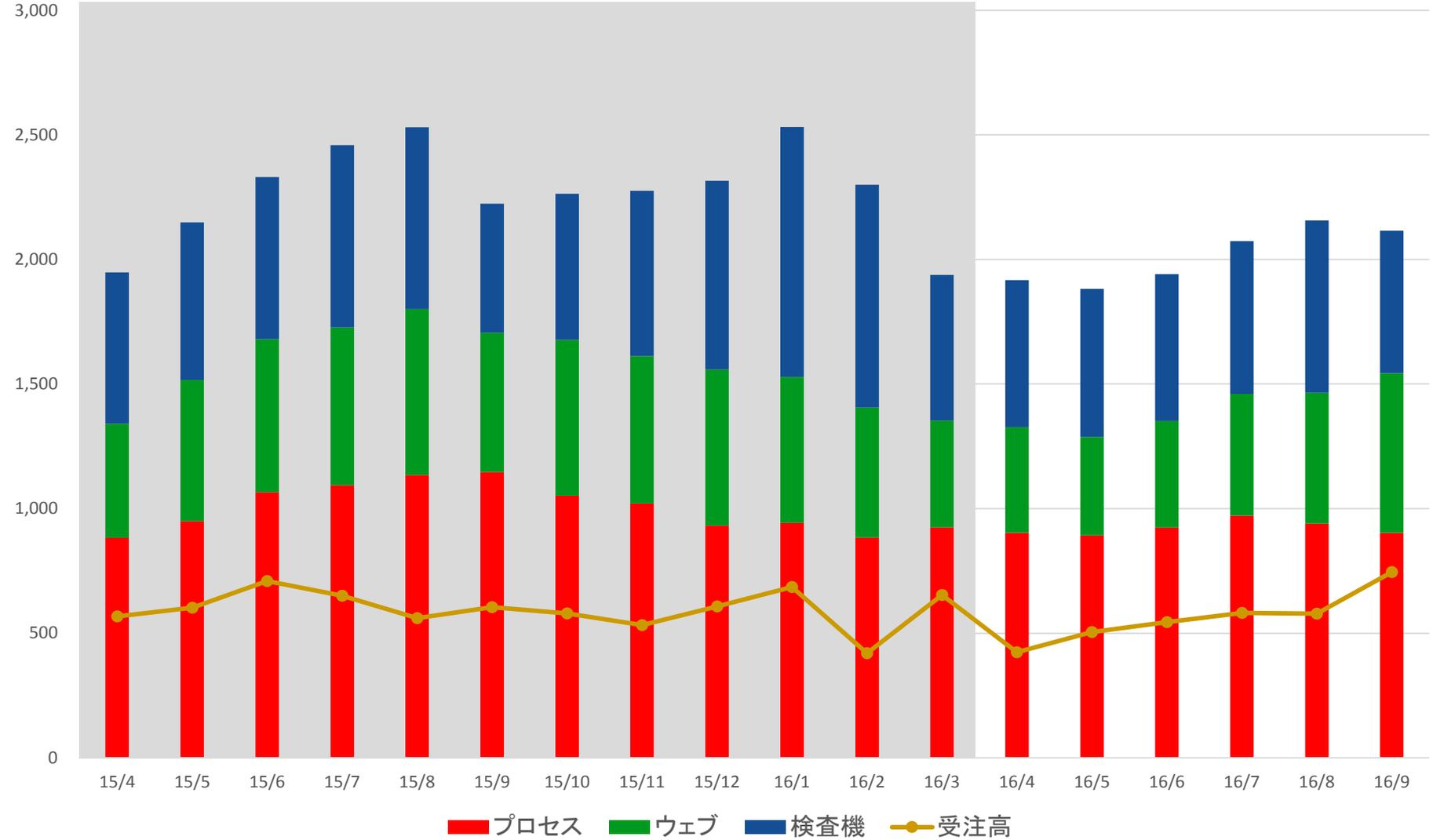
# 受注残高状況推移

➤ 受注環境が徐々に改善し、受注残高も増加傾向

(単位：百万円)

16/3期

17/3期上期



## 今期見通し

- 下期は期初計画通り
- 上期計画未達分を期初計画から下方修正

(単位：百万円)

	16/3期 実績	17/3期 期初計画	17/3期 修正後計画	増減率	
				前期比	期初計画比
受注高	7,567	7,700	7,500	-1%	-3%
売上高	7,472	7,500	7,300	-2%	-3%
営業利益	649	650	500	-23%	-23%
営業利益率(%)	8.7	8.7	6.8		
経常利益	686	680	520	-24%	-24%
経常利益率(%)	9.2	9.1	7.1		
親会社株主に帰属する当期純利益	476	450	340	-29%	-24%
当期純利益率(%)	6.4	6.0	4.7		
1株当たり当期純利益(円)	65.80	61.90	46.60	-29%	-25%

## セグメント別今期見通し

- プロセス事業、ウェブ事業はほぼ期初計画通り
- 検査機事業は選果装置の一部受注ずれ込みにより期初計画を下方修正

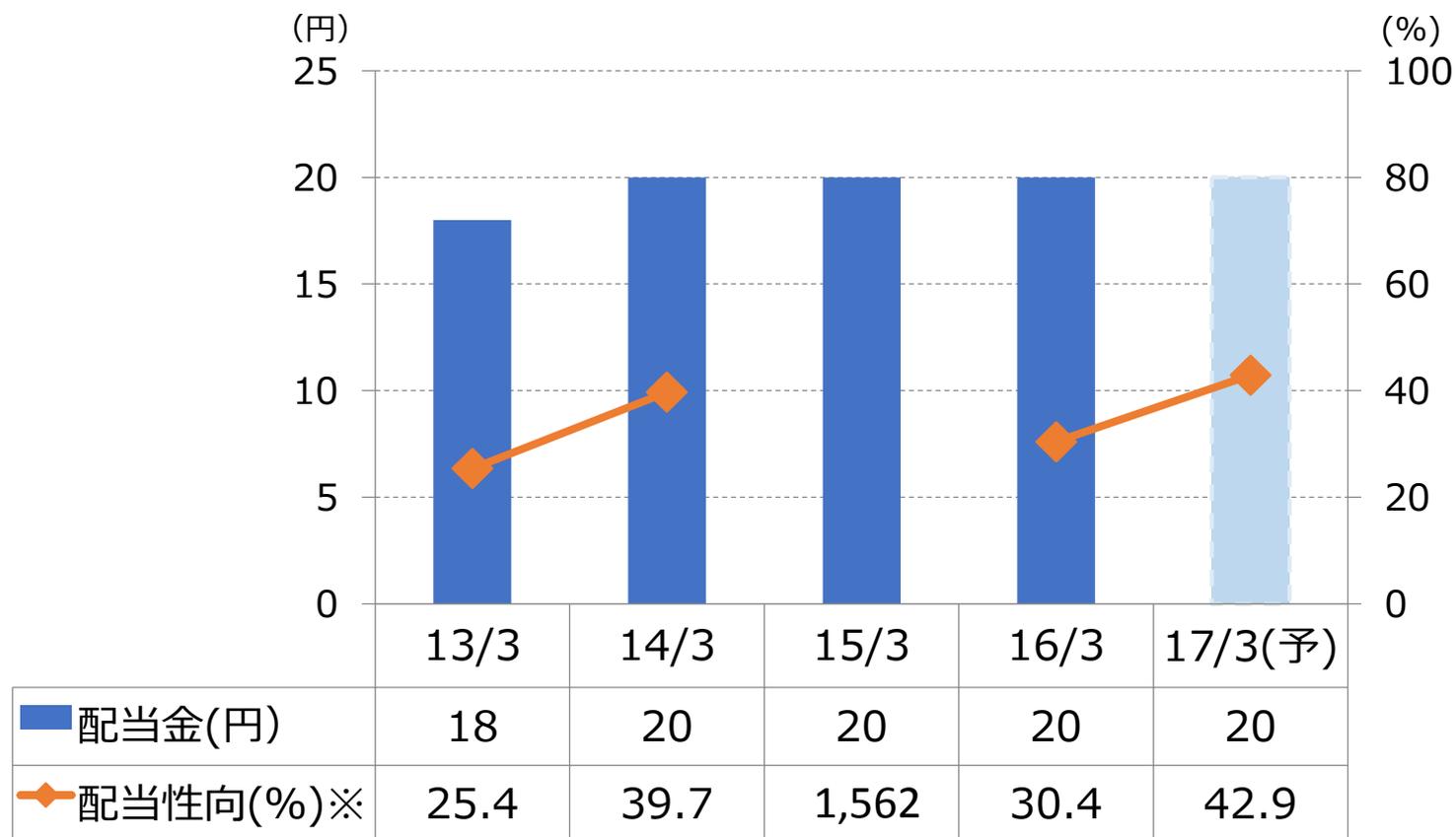
(単位：百万円)

		16/3期	17/3期	17/3期	増減率	
		実績	期初計画	修正後計画	前期比	期初計画比
プロセス事業	受注高	2,656	2,750	2,750	+4%	±0%
	売上高	2,610	2,650	2,650	+1%	±0%
	セグメント利益	610	560	440	-28%	-21%
	セグメント利益率(%)	23.4	21.1	16.6		
ウェブ事業	受注高	3,022	2,900	2,900	-4%	±0%
	売上高	3,018	2,900	2,900	-4%	±0%
	セグメント利益	352	320	440	+25%	+38%
	セグメント利益率(%)	11.7	11.0	15.2		
検査機事業	受注高	1,866	2,050	1,850	-1%	-10%
	売上高	1,820	1,950	1,750	-4%	-10%
	セグメント利益	221	300	150	-32%	-50%
	セグメント利益率(%)	12.2	15.4	8.6		

# 株主還元について

**基本方針** 安定配当の維持を基本に連結配当性向35%を目標と定め、その実現を目指す

➤ 上記方針のもと、中間配当金は1株当たり10円と前中間配当金と同額を決定



(※配当性向は連結ベースを表示)

# 3. 今後の取り組み

## 取り組みの進捗

テーマ	現在の進捗状況
<b>市場の 拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品、高機能材料向け製品の拡充を推進</li> <li>・韓国鉄鋼市場におけるメカトロ事業開始に向けた子会社の環境整備</li> </ul>
<b>技術の 進化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代検査機の開発に着手</li> <li>・磁界、マイクロ波を用いた新製品を開発中</li> </ul>
<b>経営体質 の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査等委員会設置会社へ移行</li> <li>・ニレコ コーポレート・ガバナンス基本方針の制定</li> <li>・戦略に応じた機動的かつ柔軟な社内体制構築の推進</li> </ul>

## 今下期の取り組み

### プロセス事業

- 生産性向上、品質改善に貢献する製品の販売強化（国内）
- サービス網の確立及び製品ラインナップ拡充による安定収益化（海外）

### ウェブ事業

- 有機EL、二次電池製造ライン向けの制御装置の販売強化
- 顧客密着型ビジネスによるサービス収益の定着、更なる向上

### 検査機事業

- 無地検査装置の機能拡充による高機能フィルム検査ニーズの取り込み
- 食品向け検査装置の市場拡大・拡販

## トピックス-他社との協業

### 韓国市場の開拓強化



韓国において認知度の高い鋼板工業の結束機と  
当社マーキング装置を組み合わせ、当社現地子  
会社にて製造・販売開始

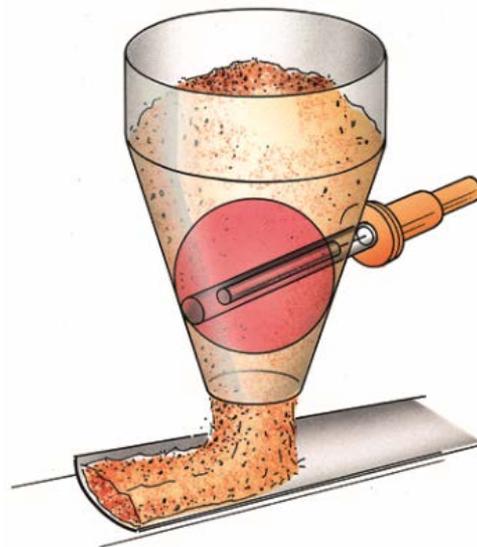


バンドレーザマーカ

### 国内市場の販売力強化



自社製品との組み合わせによる販売力強化を  
目的に、独ベルトールド社の国内鉄鋼業向け  
製品の販売代理契約を締結



水分計



レベル計

# 參考資料

## 会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	342名*
連結売上高	7,472百万円*

\* 2016年3月期連結ベース

## 沿革

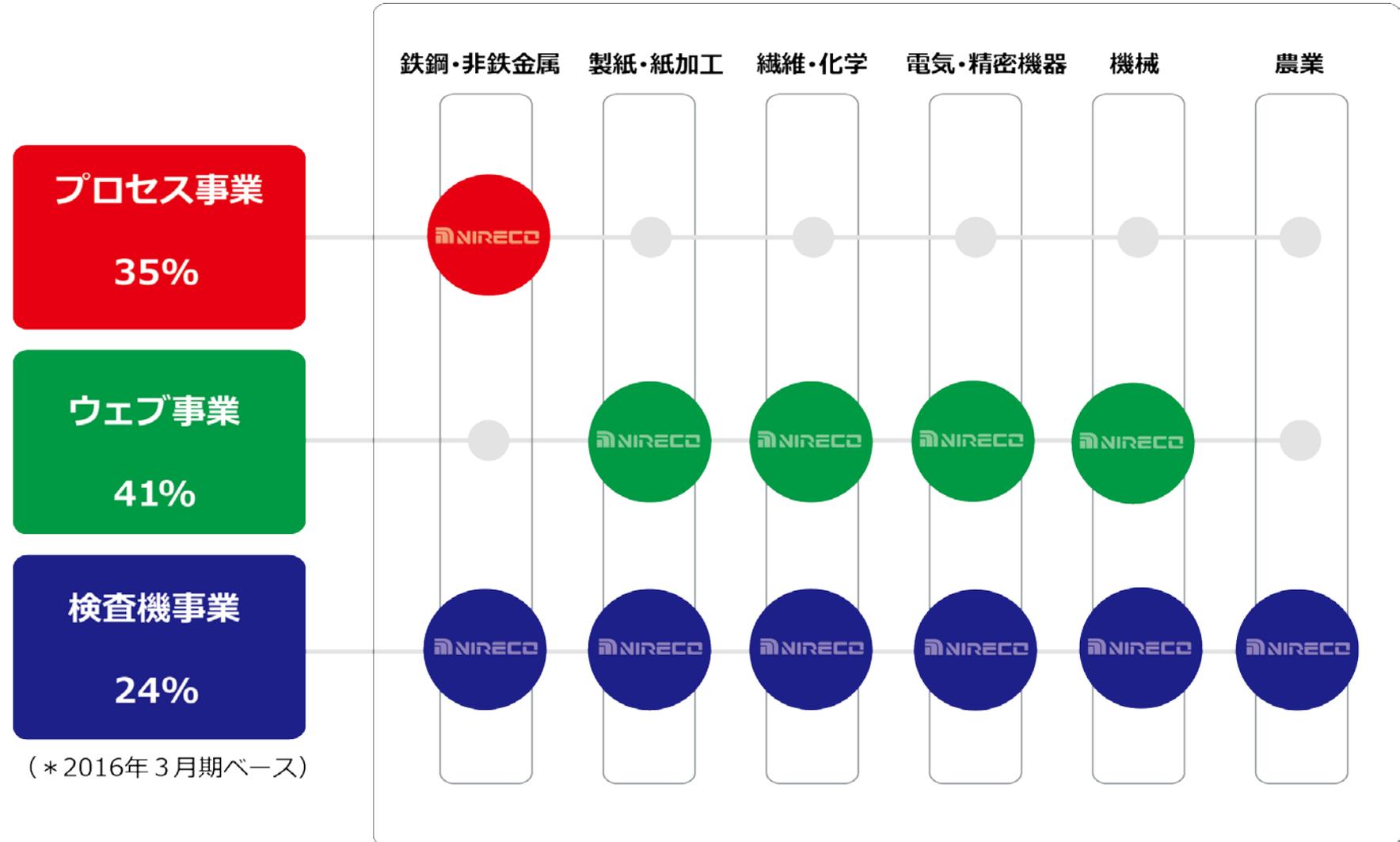
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）

## 経営理念

### 「技術と信頼」

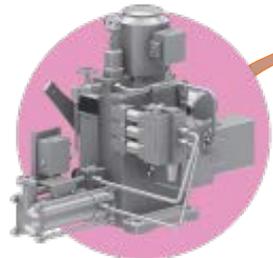
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

# 事業別売上高構成比とマーケット

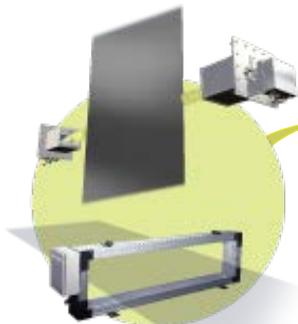


## プロセス事業

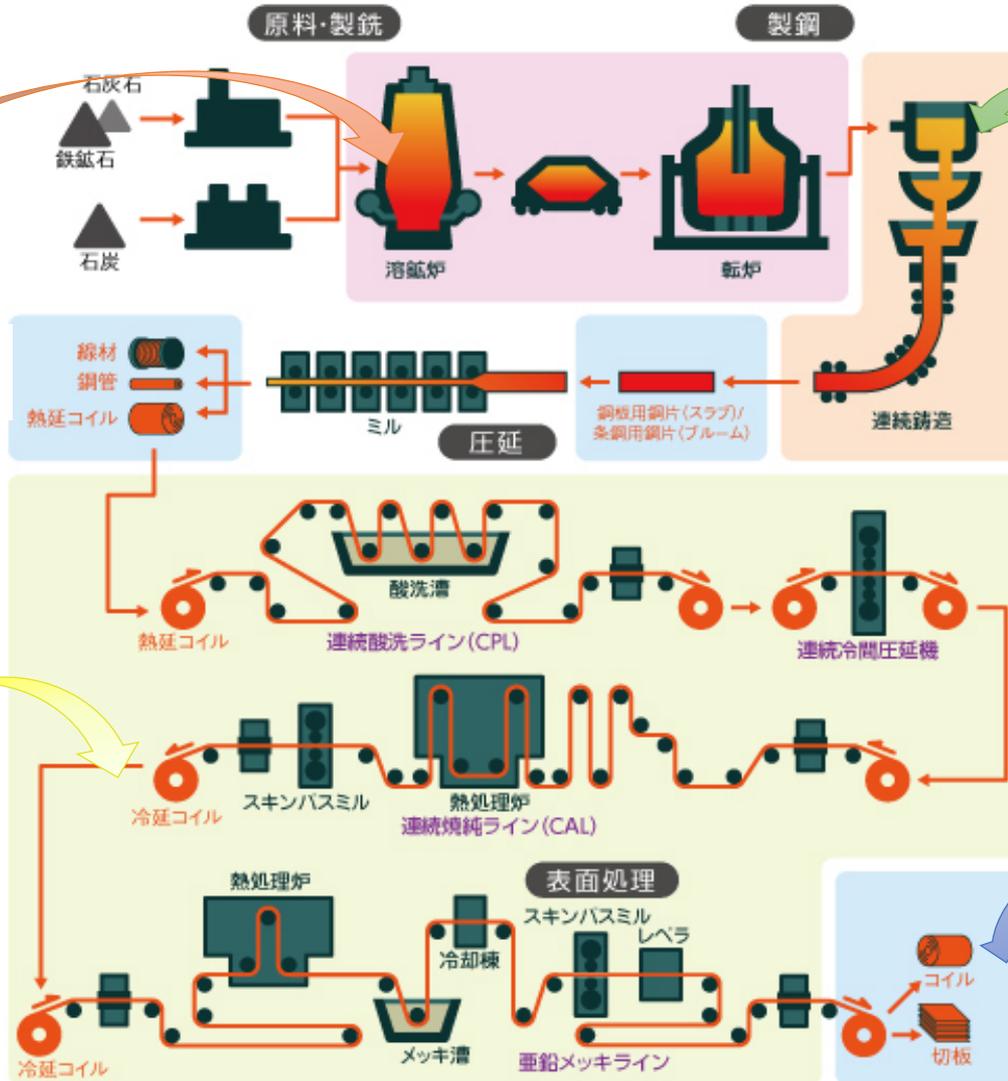
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



電油アクチュエータ  
(プロセス制御装置)



耳端位置制御装置



渦流式溶鋼レベル計

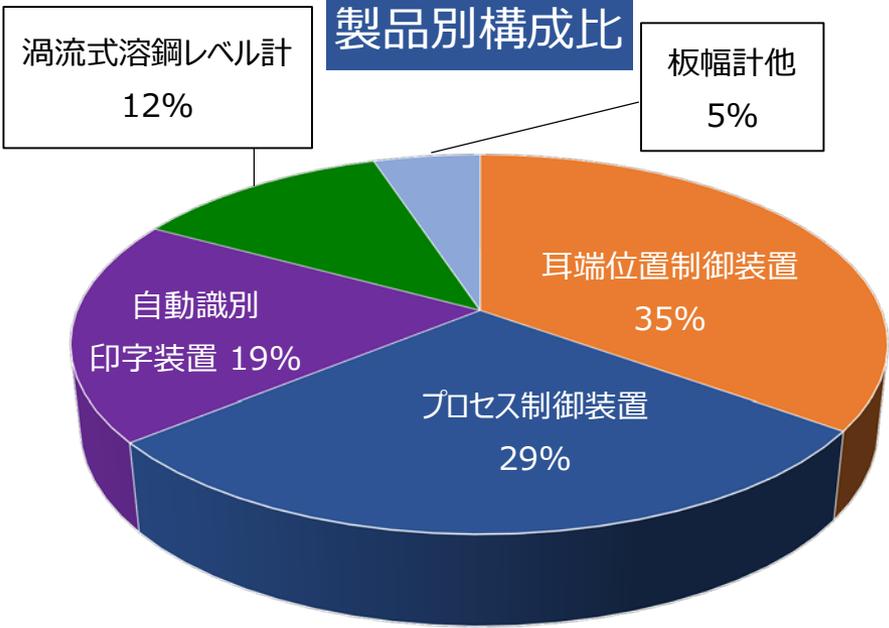


自動識別印字装置

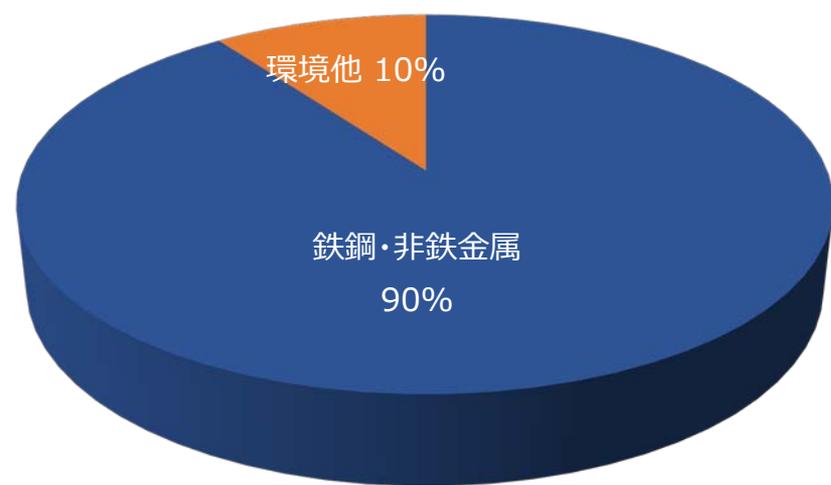
# プロセス事業売上高内訳

17/3期上期：1,172百万円

製品別構成比



業種別構成比



## ウェブ事業

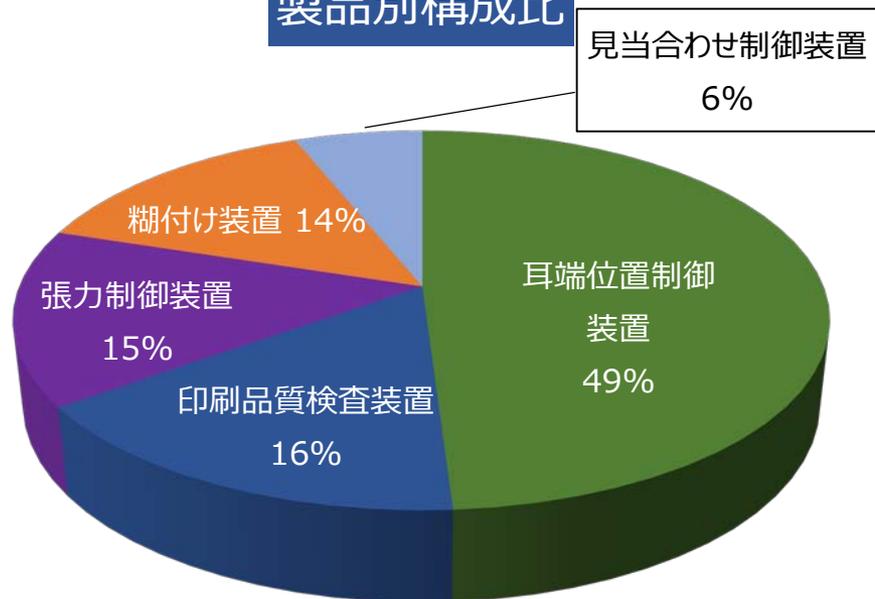
主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



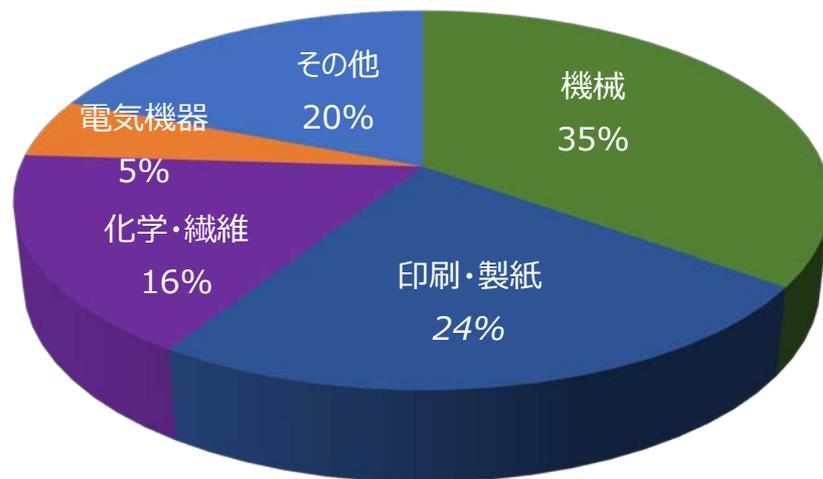
# ウェブ事業売上高内訳

17/3期上期：1,418百万円

製品別構成比

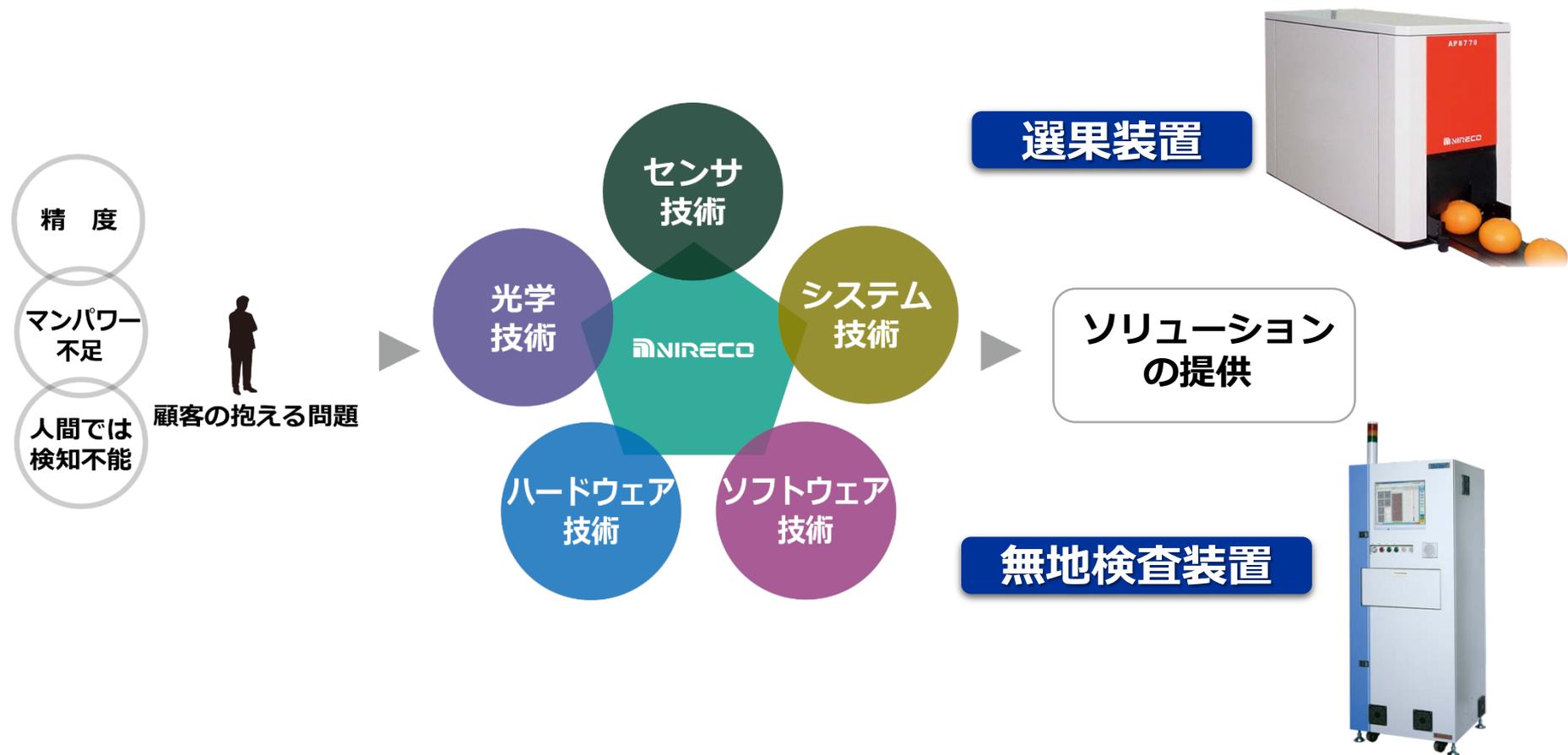


業種別構成比



## 検査機事業

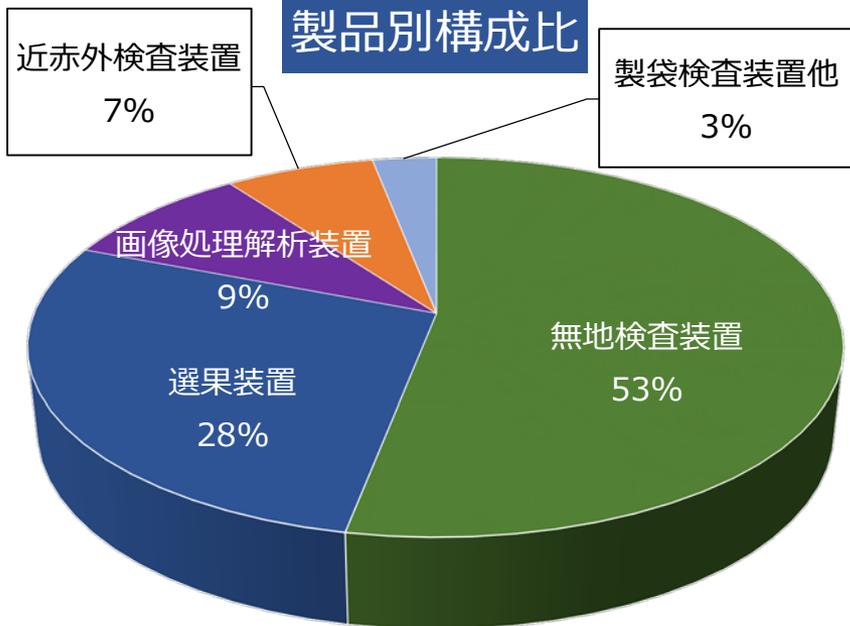
長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



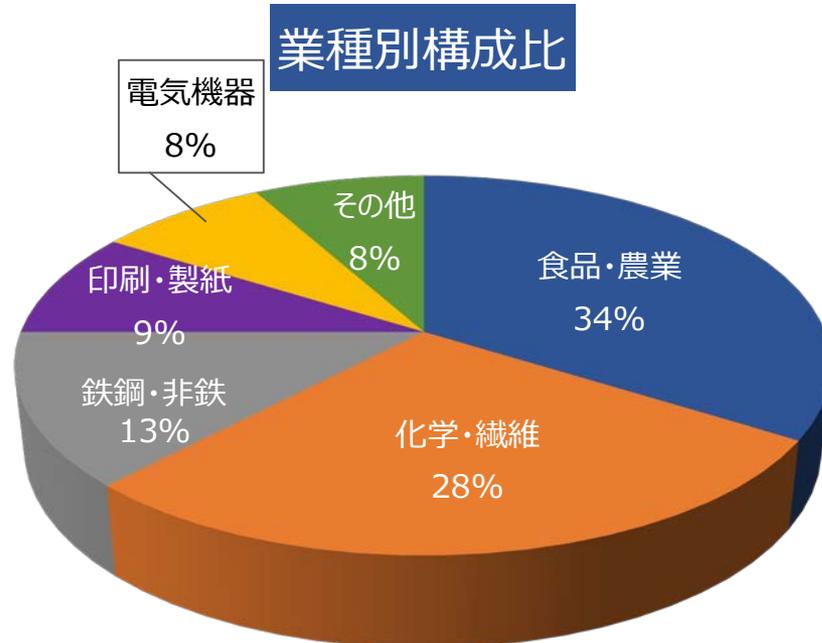
# 検査機事業売上高内訳

17/3期上期：693百万円

製品別構成比



業種別構成比





I R 関連のご質問・ご意見はこちらへ  
電話：042-660-7301  
<http://www.nireco.jp/contact/ir.html>